

東京片貝会報

発行所 東京片貝会  
港区芝公園2-11-4  
電話 03(433)5925

### 晴れやかに新年会

日本女子会館（一月十五日）

例年一月末に増上寺で開いていた新年会を、今年は日本女子会館で催した。ちょうど成人式の日で近くにその会合があり、若い男女が会場の近くに溢れていた。



この会館は、照憲皇太后の内帑金によって、女子教育の振興を意図して建てられたもの。最近改築されて立派になり、いろいろの会合に利用されるようになった。

#### 20周年総会の準備

午後一時から各年次代表が集っていた。総会の計画を相談

### 第20回 総会 予告

会場 大田区 平和島温泉

期日 六月三日(日)

詳しいご案内は五月初旬にいたします。奮ってご参加ください。これまで先輩が築いてこられた輝かしい、片貝会の伝統をこの際、いつそう意義あらしめたいと思います。ぜひ皆様のご協力をお願いします。記念事業計画は二面をお読みにしてください。

した。皆さんからいろいろ建設的な意見を出していただき、いっそう理解を深めることができた。ご承認いただいた具体的内容は、第2面にまとめて載せてありますので、お読みください。ご協力賜らばまことに幸いです。

記念事業を推進するに当たっては、記念事業委員会を組織することとし、委員長に相崎善次郎氏（昭5）総務に相崎勇次氏（昭2）を選出、現行役員はすべて相談役になっていただき、会計及び監査は後日委嘱することになった。

新年おめでとう

午後2時から新年会を開催、副会長三重堀繁蔵氏が開会の挨拶、佐藤会長より年頭のことは、記念事業委員長に就任した相崎善

次郎氏より、先ほど承認された事業計画の大様を説明して、了解をいただいた。

続いて先輩の吉原周治氏（大5）の乾杯で、懇親にはいった。

七月の総会以来、半年ぶりで健康やかに再会する喜び、又学校卒業後初めての出会いや、幼いわが子をお連れになって、出席してくださった若いママたち……

会場はたいへんな賑わいとなった。じゆうたんを敷きつめた立派な会場に、金屏風を背にして、踊りが始まった。

ベテラン佐藤正雄さんの「男の舞い扇」が、正月気分をひきたてる。若々しい児島良子さん、おなじみの丸山フジさんの見事な踊りに、一同は拍手喝采を送る。

民謡の大家和田豊次さんの歌声に聞きほれ、芸達者な小林倉三郎さんの踊りに魅せられたり、余興は尽きるところがない。

#### お楽しみ 福引き

会も最高潮に達した頃、好評の福引きがはじまった。みなさんは大当りの品々を見せあつては喜びを互いに交わしていた。最後にみんなで「木やり音頭」を高らかに合唱して、五時近く散会した。

### ◎ 20周年記念事業計画案

東京片貝会が昭和35年に池袋で第一回総会を開催して、本年度20回目を迎えることになりました。

本会は昭和六年頃、片貝小学校同窓会東京支部として、発足したのが最初です。その後一時中断して、35年に再発足したのです。そして、現在のような盛大な会にまで成長するに至りました。

この意義ある20年目を契機として、平素ではやれない事業を計画し、一層会の発展を期したく思います。

皆様からいろいろご意見を承って企画したものです。何とぞ理解とご協力を賜わり、所期の目的を達成いたしたく念願しております。

一、郷土の振興に協力する

- ふるさと会館を中心とした遊歩道に桜の苗木植樹 5万円  
(朝日新聞社より一部寄贈予定)
- 小中学校に図書を寄贈20万円

- 郷土を考える小中学生の文集を発行 6万円

二、東京片貝会発展のために

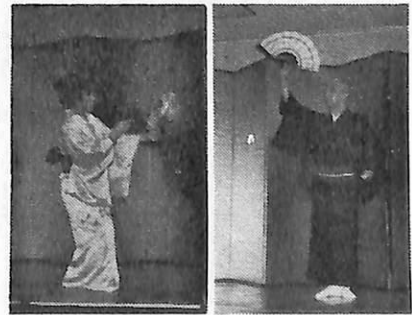
- 会旗の新調 20万円
- しやぎり楽器の新調 25万円
- 記念事業実施諸費 4万円
- 会員名簿の発行、記念品贈呈 (資金状況をみて実施)

合計80万円

以上を会員のご寄付により当てたく存じます。誠に恐縮ですが、ご支援を賜わりますよう、お願い申し上げます。

#### 募金要領

- 一口千円(年会費七百元といっしょに、ご送金ください。)
- 個人ではなく同級会として一括お納めいただいても結構です。この場合は年会費のみを別にお送りください。
- 3月31日までにご送金下さい。



尚当日左の方々より、お祝いをいただきました。厚くお礼申し上げます。(新年会) (敬称略)  
佐藤正雄さん  
藤島さん  
正雄さん  
雄島さん  
正雄さん  
島さん

松下利夫、藤塚悟、西山信男  
新年会来会者(一〇三名)

・明治

高野三郎 丸山フジ

・大正

吉原周治、大矢修一、相崎政弘、  
品田軍治、桑原喜技、石上リヤウ  
佐藤正雄、小宮トク、渡辺左武郎  
浦部茂子、樋爪キミ、長谷川江津  
神林徳次、安達道宗、小林倉三郎  
相崎尚次、水内脩治、佐藤量八  
安達宗吾、能沢敬次、安達徳太郎  
大塚タケ、高橋清雄、三重堀繁蔵  
小宮トク、石黒みす

# 第3回ヤングの集い

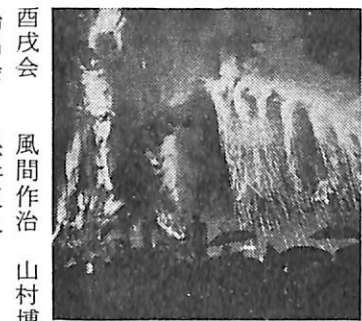
## 若さ溢れて、賑かに

渋谷、万葉会館で(2月4日)

ヤングの集いは、過去2回恩師を囲んで、スポーツを楽しみ、互いに友情を深めあうということと赤坂小学校の講堂を借りて、やってきました。

今回は新年会を兼ね、食べて飲んで歌って……愉快なひとときを過ごそうという企画で、昭和41/47年卒、中学校22/28回卒)の方々に呼びかけました。

会場の万葉会館は県人出身の経営者で、設備もゆきとどいた立派なところです。



スターマインと  
さいの神

- 西成会 風間作治 山村博男
- 船出会 松井正之
- ふたば 安達敏明 佐藤亮
- 山賀 悟 佐藤 勉
- 浅田正行 吉原幸子
- 松下利夫 藤塚 悟
- 諸我時夫
- 相崎尚次 相崎善次郎
- 相崎勇次 安達道宗
- 佐藤量八

### 役員

### ふるさと寸便

ふるさと会館の建設地も近く決定となり、四月頃から工事が始まることになった。

水道は去る十二月から本町が給水開始となり、漸次町内全域に拡大される。又、池津は来年度から工事が始まる。

- ・昭和2/10 酒井ミヨ、小林敬司、早川松太郎
- 相崎勇次、本田政秀、小川茂雄
- 吉井武二、芝 五郎、相崎善次郎
- 安達幸一、勝又 功、藤塚栄三郎
- 馬場キイ、大内登世、三重堀新二
- 黒崎孝造、大矢幸治、山口武一郎
- 堀井豊作、吉原菊枝、佐藤彦一
- 芝三四司、森本比夫、
- ・昭和11/20 和田豊次、安達三好、山口信次、高橋四郎、黒崎音吉、安達保治、大矢常吉、佐藤広次、黒崎和一郎、藤塚吉雄、相崎四郎、松下利夫、山田利雄、佐藤敏雄、浅田 猛、星 シズ、浅田栄三、西山和子、小宮幸雄、清水ミイ、金井ヨシ子
- 五十嵐貞雄
- ・昭和21/30 阿部修次、新野次郎、大塚順一、安達太一、児島良子、吉原新作、黒崎 正、橘 喬、諸橋 存、小野塚茂、浅田好司、深野敦子、渡辺幸子、大坂照子、石井恵美子
- 本田善一、石川春子、荒木ムツ
- 本田繁男、安達 敏、黒崎 勝
- ・昭和31/35 藤塚 悟、大塚国夫、大矢佐知子
- 黒崎昭二、諸我時夫、黒崎玲子、工藤イツ、井口幸子、山家恵美子

- 青年部の行事ですが、この度は
- 再会を約して散会しました。
- 前回よりやや出席率は増えたものの、若い人たちは受験を控えていたり、仕事が多忙であったりして、会に対する意識は、今一歩という感があります。今後いつそうの関心を期待しています。
- 出席者
- に 黒崎守夫、山賀誠治
- 銀 会 安達祐子、小野塚祐子
- 吉井 保

### 会の動き

長谷川昌夫さんのこと

長い間前会長安達竜作さんを助けて、化学技術同友会の仕事をし  
て来られたが、昨年十一月二十八  
日逝くなられた。七十七才。

片貝会の裏方として、庶務に、  
会計にその功績は多大なものがあ  
った。総会の受付でいつもここ  
やかにみんなを迎えておられた姿  
が目につぶ。安達さんと共に、会  
の基礎を作るのに、大きな力があ  
った。

ささやかながら、会として弔意  
を表しておきました。

皆々様にお世話様になりながら  
何のお返しも出来ず亡き人となり  
ました。今一度元気になつて、皆  
様にお会いできることを楽しみに  
入院しておりますが、誠に残念  
でございました。

いただきましたご芳志は、生前  
の好物を求め、仏前に供えさせて  
いただきました、有難く厚くお礼  
申し上げます。

(長谷川さん奥様より)

藤塚太郎氏(大8)のこと

会報18号で、同氏が昨年春に勲  
五等を叙勲された、と報じました  
が、勲四等の誤りでした。ここに  
お詫び申しあげるとともに、改め  
て、藤塚さんの栄誉をたたえたい  
と存じます。

忘れ物

去る七月総会の際、婦人用の立  
派な扇子をお忘れの方がありまし  
た。前の会報に載せるスペースが  
なく失礼しました。お預りしてあ  
りますので、会の事務所と申しま  
しても、佐藤宅までご連絡くださ  
い。お届けいたします。  
(〇三―四三三―五九二五)

### いちどぜひ行ってみたい 賽の神の行事

一月十五日

片貝会の新年会の日、盛大な  
賽の神行事が行われた。

毎年成人式を迎える年度が、本  
年は船出会である。参道の両側に

明るく美しいろうそくの光りが輝  
く。そして、ご神火送りの勇しい  
行事もみな若者の行事となつてい  
る。

境内の浅原神社  
の浅原神  
のう賑わ



夜は景気の良いスターマインも  
船出会の人達によつて奉納された  
こんど花火の観覧席が新設され  
て、そこから福餅まきが行われた  
屋は商店連合会がまき、夜は四十  
二才の鳳友会の人達の、厄おとし  
の餅まきがあり、浅原神社の境内  
は終日賑わった。  
そして、この日一番の目玉行事  
は、なんといっても賽の神(どん  
ど焼き)の行事である。  
午後ひとつ焼き、夜に入つて、

小さいのが二つ、最後に大きいの  
が、天をこがして焼かれた。こう  
して本年の豊作と、無病息災が盛  
大に祈念された。

片貝のこの行事は、近年秋の祭  
とともに、県内でも広く人々に注  
目され、有名になれている。

新聞社や新潟テレビの取材班も  
きて、たいへんな賑わいであつた。

東京小千谷会々長荻野虎吉氏は  
一月末に逝去された。片貝会へも  
二回出席されたが、郷里の為に  
く尽された。佐藤会長が会葬に。

物故者

さきにお知らせしました以後、  
つぎの方々が物故されました。

謹んで哀悼の意を表します。

小野シヨさん(大12)

高橋千代子さん(昭9)

吉井敏郎さん(昭12)

あとがき

6月3日の総会には、郷里から  
同級生の方々にも多数出席いた  
だく予定です。今からご都合をお  
つけになり、ぜひご出席下さい。  
お待ちしております。

(佐藤)